

特集

「静岡 ならではの 観光」

「全国大会で、せっかく静岡へ来たのだから、静岡の観光地を訪れたい」と思っている参加者は多いはず。周辺観光は、大会のプログラムの中に組み込まれる場合もありますが、時間的な制約などから、個人や小グループで自分の関心のある観光地を1~2カ所、徒歩やタクシーで訪れるケースが多いようです。

当ビューローの調査で、参加者が訪問した観光地を見ると、



▲静岡県立美術館
ロタン館
◀駿府城二ノ丸
東御門・翼櫓

最も訪問者が多いのは登呂遺跡で、回答者の6.9%が訪問。次いで、日本平6.6%、駿府公園4.2%、久能山東照宮3.0%、三保の松原2.0%、富士山1.3%、県立美術館1.2%、芹沢美術館1.1%、静岡浅間神社1.1%、伊豆方面1.0%などとなっています。

当ビューローでは、静岡県中部の観光ミニガイド(有料施設の割引券付)を、参加者に無料で提供していますので、ご活用ください。

▶静岡の歴史を語る

静岡の人気観光地を大きく分けると、富士山への眺望地、徳川家康公ゆかりの地、美術館となります。

これらのうち、家康公ゆかりの地については、たとえば、大会の講演会で、静岡大学の小和田哲男教授に「戦国武将の先読みと決断」についてお話しいただき、浅間神社、駿府城、久能山東照宮、浮月楼など徳川ゆかりの地を紹介していただくと、参加者が興味をもって各史跡を訪れるようです。

また、静岡市内については、静岡案内人「駿府ウエイブ」(TEL054-253-3616)に依頼すると、ツアーに同行して歴史的背景などを説明してくれます。参加者10人までガイド1名で1000円。要予約。



徳川家康公の像

▶会期中のイベントの案内

大会の会期中に開催されるイベントを参加者に案内しましょう。特に大道芸ワールドカップは人気が高く、これに合わせて大会を開催する主催者もあります。なお、野外イベントは、雨天中止になる場合があるので注意が必要です。

◇石垣いちご狩り

1月~5月上旬

◇静岡まつり

4月第1土・日曜

◇お茶摘み 4月中旬~9月

◇日本平まつり(花火大会)

7月下旬

◇安倍川花火大会

7月最終土曜

◇清水みなと祭り

8月第1金・土・日

◇みかん狩り 10月~12月

◇大道芸ワールドカップ 11月初旬

静岡アートギャラリー、県立美術館、芹沢銈介美術館、駿府博物館など、会場近くの美術館の催事も紹介しましょう。



大道芸ワールドカップ

▶観光モデルコース

定期観光バスは、主な観光地をまわるのに便利です。予約制。

◆するが満喫Aコース

静岡駅9:50→浅間神社→日本平→久能山東照宮→梅蔭寺→清水港遊覧→羽衣の松→登呂遺跡→静岡駅16:40頃
(大人5,840円。昼食・拝観料・船代・ロープウェイ運賃・土産を含む)申込みは、しずてつジャストライン(株)(TEL 054-253-8635)へ。そのほか、各種大会で実施されることの多いモデルコースは、次の通り。

◆歴史体験の旅(日帰り)

静岡駅8:45→登呂遺跡・芹沢美術館→吐月峰柴屋寺→丁子屋(とろろ汁)→駿府匠宿(伝統工芸体験)→玉露の里→静岡駅15:15頃

◆富士山の旅(日帰り)

静岡駅8:00→(東名高速)→富士IC→富士山新五合目→朝霧高原(昼食)→白糸の滝→富士国際花園→新富士駅16:00頃

◆伊豆の旅(1泊2日)

静岡駅8:45→日本平・久能山東照宮→エスパルスドリームプラザ(すし)→清水港→(フェリー)→土肥港→天窓洞遊覧船→堂ヶ島温泉(宿泊)8:50→了仙寺→河津バガテル公園→稲取(昼食)→城ヶ崎海岸→伊東マリンタウン(買物)→熱海駅15:45頃

▶夜の飲食店の案内

夜の食事も、まぐろ・しらす・さくらえび・おでん・地酒など、静岡ならではの料理が味わえる店を紹介して、楽しんでいただきます。

大会独自のナイトマップを作成する主催者もありますが、当ビューローでは、「グルメ&ナイトマップ」を参加者に無料で提供しており、HPでも情報を発信しています。



静岡の地酒



静岡おでん